

土木工学・建築学委員会企画分科会
環境工学連合小委員会（第24期・第6回）
議事録

日時 令和元年8月23日（金）10:00～12:00

会場 日本学術会議6階 6-C 会議室

出席者 米田、浅見、嘉門、森口、玄地、醍醐、永田、藤倉、坂巻、西嶋、梅村、江頭、金澤、村上（文責）
オブザーバー 岡部（環境資源工学会）、半田（空気調和・衛生工学会）、足立（日本化学会）、渡辺（日本LCA学会）

議事

議事に先立ち、定足数を満たしていることの確認があった。

1. 前回議事録の確認

- ・前回小委員会までの議論の経過・内容を確認した。

2. 第32回環境工学連合講演会についての開催報告

- ・森口委員長から学術会議への報告について資料2に基づき報告があった。
- ・幹事学会委員，および事務局から簡単な報告があった。
- ・資料2について，環境資源工学会が一般社団法人になったことからそれを反映すること，名称にテーマを追記することが確認された。

3. 第33回環境工学連合講演会の企画概要案について

- ・次期主幹事学会の土木学会より，来年度講演会について資料3に基づき説明があった。
- ・招待講演の推薦依頼について，委員会日程が例年よりも前倒しになっているため，推薦依頼も一カ月程度例年よりも前倒しになる可能性がある。各学協会は講演者の決定に際して留意されたい。
- ・開催日は例年に倣って5月19日（火）とすることで決定された。シングルセッションで学術会議講堂での開催とすることとし，32回と比べ時間は長めにとることも含め承認された。
- ・環境委員会関連からの講演者推薦はフューチャーデザイン関連等，いくつかのテーマについて可能だと考えられることが確認された。幹事学会で検討したうえで必要があれば依頼することとする。
- ・テーマ名がやや長いので，「SDGsに向けた環境工学の役割」など，趣旨を変えない範囲で短縮を検討することとなった。
- ・開会挨拶を米田委員が，閉会の挨拶を嘉門委員が行うこと，ならびに総括，特別講演の座長を小委員長が務めることが確認された。

- ・SDGsのゴールのうち、個別のゴールに関連するような講演、複数のゴールにかかわる横断的な講演、双方を募集しセッション編成をすることとなった。講演依頼の際、各学協会の講演内容がどのゴールと関わりが深いかを付記してもらうことを含め幹事学会が文面を用意することとした。

4. 環境工学連合講演会の運営体制について

- ・小委員会委員長より資料4に沿って、小委員会活動に関する今後の検討課題について説明があった。
- ・資料内の項目3について、オブザーバーに対する小委員会開催通知の送付、出欠確認については学術会議事務局が担うことが報告された。
- ・副幹事学会については毎回その必要性について、主幹事学会の希望を基本に検討し、必要だと考えられる場合には設定することとする。33回については、副幹事学会は設定しない予定。

5. 小委員会の今後の検討課題について

- ・資料5に基づき委員長から説明があった。
- ・資料内の項目1について、過去の講演会に関する情報の中に失われているものがあるため、各学協会において、過去、特に初期のプログラムについて広報等で全文掲載したものなどが残っている場合には連絡されたい。
- ・学術会議のホームページの刷新の議論が進められていることが浅見委員から紹介され、改めて学術会議としてアーカイブの格納の可能性がないのか確認してはいかかかという意見があった。
- ・講演会以外の活動として、これまでの講演会を総括するような活動があってもよいのではないかという意見があった。
- ・学術会議の協力学術研究団体の認定の規定について緩和する方向で見直しを進めていることが米田委員から紹介された。特に複数学会で一つの学会誌を発行することを認めるなどが検討されているが、環境工学連合としても連携の足掛かりと考えるようなことができるのではないかと考えられる。この件に関して意見がある委員は米田委員に連絡されたい。

6. その他

- ・次回日程について、2020年1月15日、24日、30日の午前中を候補日とし調整を進めることとなった。

以上